

街づくり20年(下)

30年にして歴史なる
10年偉大なり、
20年畏るべし、

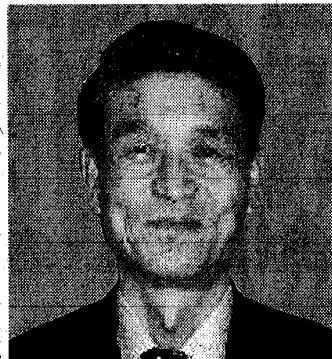
帝塚山地域には、恒例化しつつあるいくつかの大きな行事がある。

毎年1月下旬に行われる帝塚山街づくり交流会(略称T.M.K.)主催の新年互礼会が一年のスタートだらうか。次に続く各実行委員会による行事は、五月の「阿部野新能」と「帝塚山音楽祭」、そして八月の「帝塚山まつり」、十一月の「帝塚山カップゴルフ選手権大会」となる。

今年も五月の「帝塚山音楽祭」は六万人超の動員で大盛況に終わった。そして早くも八月の「帝塚山まつり」や十一月の「帝塚山カップゴルフ選手権大会」となる。

氏田 耕吉

帝塚山街づくり交流会
ウジタオートサロン代表取締役



昨年六月、T.M.K.主催で「街づくり二十周年を祝う会」を催した。長い年月を経た街づくり活動

に携わった人たちで百人予定の貸し切り会場は、定員オーバー、人であふれた。こんなに多くの方々に集まっていただけたのは何だったのか。そろ、皆さん「街に惚ほれてる」のだろう。

かつて、亡父の結婚式での祝辞を母親から教えてもらったことがある。それは「男の三惚れ」つまり「住む所に惚れ、仕事に惚れ、女房に惚れよ」と

この欄に対する感想(400字以内)をお寄せください。採用、掲載分には図書カードをプレゼントします。『満標』編集部

いう話だつた。自分が生みこし」や「子供だんじり」そして「だんじり太鼓」も二十年たち、数年間から、その子どもたちの「帝塚山青年団」が自ら始めた。人生塾のような自主勉強も始まっている。これまで自信を持ってこのスピーチをしていた父親を誇らしく思っている。

もう他の行事についても、わたしは消化型運営は好きではない。常に参加したくなるような企画を、協力してくる運営で進めたく思つている。しかし、実はこれが大変難しい。かつて、イエローハット創業者の鍛山秀三郎さんは、「十年偉大なり、二十年畏(おそ)るべし、三十年にして歴史なる」と教えていた。この「街づくり活動」も初めのころはどうなるものかと思っていたが、十年で形は出来上がった。そして二十年、これはまさに「畏るべき」ことだ。しかし、三十年にして「歴史」となり、統べるために次代を担う人

が街づくりの第一線で活動してきたが、これからもまさに十年単位での活動になりそうだ。継続していかねばならない。それが街づくりの第一線で活動する若者を育てる役割をせねばならない。それは、その次世代に自ら活動する若者を育てる役割をせねばならない。それが街づくりの第一線で活動していかねばならない。これまで、われわれの世代が街づくりの第一線で活動してきたが、これからもまさに十年単位での活動になりそうだ。継続していかねばならない。それが街づくりの第一線で活動する若者を育てる役

割をせねばならない。長い歴史をつくり、また、さらなる継続を可能にする。長い歴史を望むならば、年齢とともに役割を変え、交換する時期が必要だ。ついで「人生二度なし」(森信三)、人として生きた証しを刻むためにも、次の街づくり活動に向かいたい。只管感謝。(うじた・こうきち)

大阪市阿倍野区帝塚山